

宮城県土木部 復興だより第19号

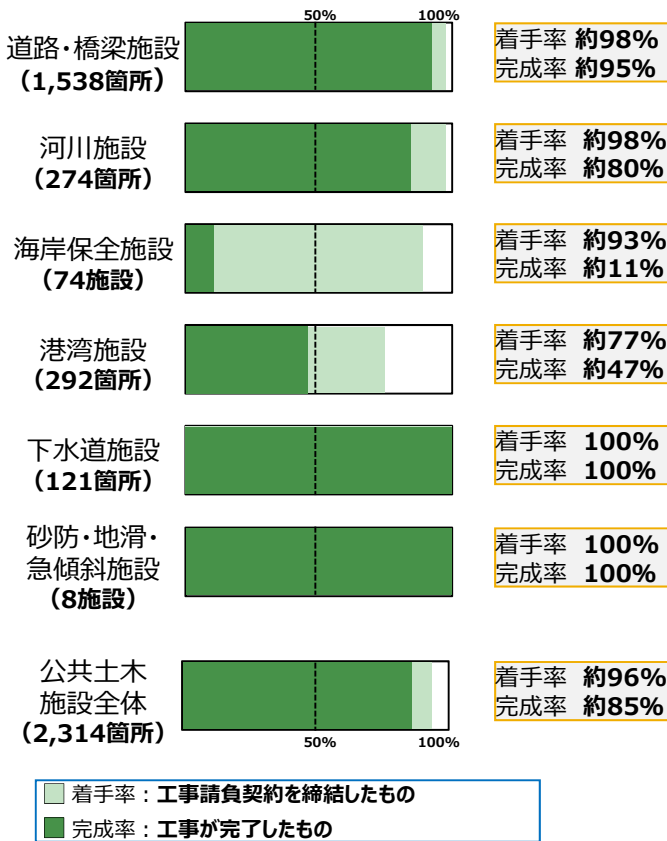
contents

- ・復興・復興事業の進捗状況【平成27年3月末現在】
- ・平成26年度復興トピックス

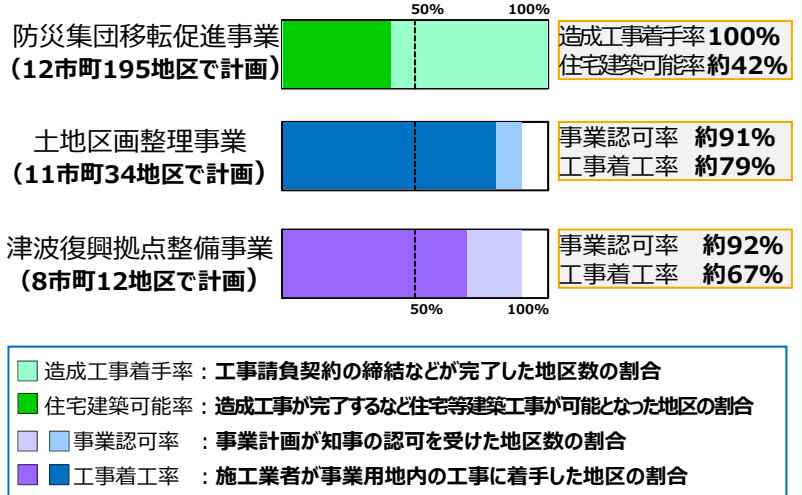


復興・復興の進捗状況【平成27年3月末現在】

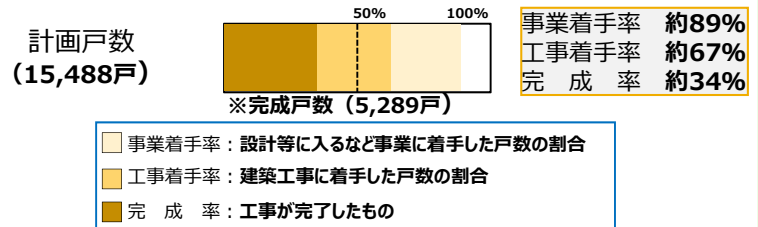
●災害復旧工事の進捗状況



●復興まちづくり事業の進捗状況

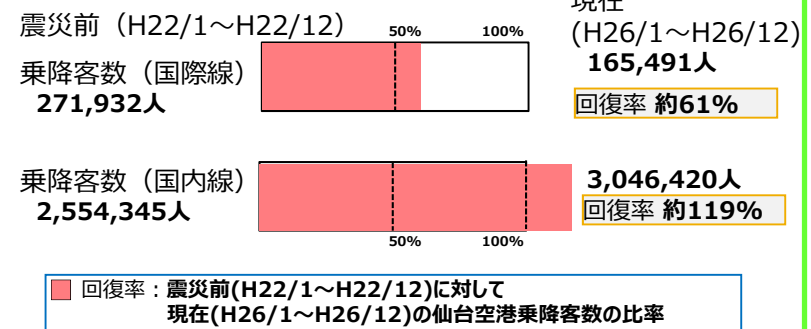
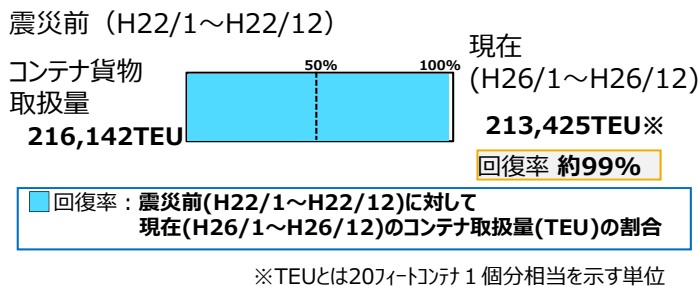


●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況

●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。

詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復興・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス（平成26年4月～9月）

4月

- 4/1 スカイマーク「仙台-神戸線」新規就航
1日に2往復就航することとなり、仙台空港からの空の旅がますます便利になりました。
- 4/18 仙台塩釜港 外貿定期コンテナ航路 増便
新たに仙台塩釜港(仙台区)と韓国の釜山港、釜山新港を結ぶ航路が増便しました。
- 4/30 東日本大震災による県管理道路の通行止め全て解除

5月

- 5/17 平成26年度津波防災シンポジウム開催
岩沼市民会館において「津波防災シンポジウム」を開催しました。基調講演として岩沼市長 井口経明氏、東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤翔輔氏にご講演いただきました。また、「伝承サポーター」認定式を行いました。
- 5/31 千年希望の丘植樹祭2014開催
岩沼市「千年希望の丘」において、国内最大級の植樹祭が開催されました。当日は7,000名のボランティアが約7万本の植樹を行いました。
- 5/31 長沼ダム竣工式開催

6月

- 6/28 塩竈市浦戸地区災害公営住宅着工式
塩竈市浦戸諸島(野々島、桂島、寒風沢島、朴島)で合計45戸の建設が予定されています。
- 6/29 三陸沿岸道路
(仮称)気仙沼湾横断橋着工式
三陸沿岸道路の一部である気仙沼横断橋は、三陸縦貫自動車道を象徴する土木構造物であり、今後、気仙沼地域の復興のシンボルとして地域産業・観光に大きく寄与するものと期待されています。

7月

- 7/23 名取市下増田地区災害公営住宅起工式
防災集団移転促進事業による移転団地内に92戸の建設が予定されています。
- 7月 生コンクリート仮設プラントからの出荷開始

8月

- 8/2 南三陸町災害公営住宅整備事業
名足・入谷復興住宅竣工式典
完成した住宅は、名足地区が木造一戸建て5戸と3階建て集合住宅2棟28戸、入谷地区が木造一戸建て9戸と3階建て集合住宅2棟42戸で、8月1日から入居が始まっています。
- 8/9 スリーエム仙台港パーク
(仙台塩釜港仙台区中央公園)供用再開
スリーエム仙台港パークは震災の影響で利用出来ない状態となっていました。復旧工事が概ね完了し、約3年5ヶ月ぶりにほぼ全ての施設の供用を再開しました。

9月

- 9/3 多賀城市新田地区・鶴ヶ谷地区
災害公営住宅建設工事合同起工式
多賀城市では532戸の災害公営住宅を市内4カ所に整備する予定となっています。このうち新田地区のRC造集合住宅3棟48戸と鶴ヶ谷地区のRC造4棟274戸の起工式を開催しました。
- 9/25 (仮称)磯草3号トンネル(乙姫1号トンネル※)
貫通【大島架橋事業】
気仙沼市大島島内で工事を進めてきた3基のトンネルのうち(仮称)磯草3号トンネルの貫通式を開催しました。今回の貫通で大島架橋事業において計画している全てのトンネルが無事貫通したことになります。(※名称は11月15日の大島架橋本体工事着工式にて披露されました。)

●4月30日 東日本大震災による県管理道路の通行止めすべて解除

東日本大震災により全面通行止めとなっていた一般県道牡鹿半島公園線（コバルトライン・大原跨道橋から山鳥規制ゲートまでの延長約11km）が、平成26年4月30日午後1時をもって全面通行止めを解除しました。これにより、震災による県管理道路の通行止めはすべてが解除されました。



(一)牡鹿半島公園線工事完成状況（石巻市新山浜地内）

●5月31日 長沼ダムの竣工式

長沼ダム（登米市）は、一級河川北上川水系迫川の登米市迫町北方地先に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、レクリエーションを目的とした多目的ダムです。昭和46年度に事業着手、用地買収や付替道路等の補償工事を進め、平成26年5月に事業着手から43年を経て竣工の運びとなりました。5月31日には竣工式が長沼フットピア公園で開催され、地元地権者の皆様や県選出国會議員、県議會議員の方々をはじめ、事業にご尽力いただいた多くの関係者の皆様に出席を賜りました。



長沼ダム全景（試験湛水洪水時最高水位到達時）

●生コンクリート仮設プラントからの出荷開始

震災からの復旧・復興事業における生コンクリートの安定的供給確保策として民間事業者が、県との協定に基づき生コンクリートの仮設プラントを設置し、気仙沼から石巻までの沿岸部において指定された災害復旧工事に生コンクリートを供給することとしています。仮設プラントを全4基のうち、7月より気仙沼市本吉地区及び石巻市牡鹿地区のプラントから県内初の出荷を開始しました。



復興トピックス（平成26年10月～12月）

10月

11月

12月

●10/8 気仙沼市都市計画事業 魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業着工式

気仙沼市市街地の中心部にある魚町と南町の合わせて11.3haの地区において、宅地の高上げ等により観光の新拠点となる商業地区や災害公営住宅、複合施設が整備される計画となっております。

●10/20 名取市閑上地区被災市街地復興土地地区画整理事業 安全祈願祭・起工式

東日本大震災で壊滅的な津波被害を受けた閑上地区では、平成29年度完成を目指して、56.8haの地区内に災害公営住宅等を整備する被災市街地復興土地地区画整理事業を進めています。

●10/20 多賀城市津波復興拠点整備事業 安全祈願祭

多賀城市八幡地区では、『減災都市 多賀城市』の実現と産業の早期復旧を実現するため、防災・減災拠点、産業復興支援（製品供給回復支援、付加価値提供）拠点及び地域経済・地域雇用牽引拠点となる津波復興拠点整備事業を進めています。

●11/4 新造コンテナ専用船「ヒュンガジャニス」就航

興亜海運株式会社所有の新造コンテナ専用船「HEUNG-A JANICE」（積載能力1,003TEU）が就航し、仙台塩釜港（仙台港区）に初入港しました。

●11/10 仙台港背後地土地地区画整理事業 竣工式

●11/13 （主）中田栗駒線（福岡工区）開通式

●11/15 大島架橋事業～本体工事現地着工へ

●12/22 川内沢川放水路 通水安全祈願祭

●12/24 新造コンテナ専用船「サニーデイジー」就航

高麗海運株式会社所有の新造コンテナ専用船「SUNNY DAISY」（積載能力1,000TEU）が就航し、仙台塩釜港（仙台港区）に初入港しました。

●12月22日 川内沢川放水路 通水安全祈願祭 開催

平成6年9月22日の豪雨は、仙台空港で総雨量515mmを観測するなど、名取・岩沼両市に甚大な浸水被害をもたらしました。このため、川内沢川の総合的な治水安全度の向上を図ることを目的として、上流に川内沢ダムを、仙台東部道路下流では広浦まで放水路を整備する計画を立案し、平成7年から河川改修に着手しました。

事業着手から約20年の歳月をかけ整備を進めてきた放水路が概成したことから、通水安全祈願祭を行いました。



通水作業状況

●11月10日 仙台港背後地土地地区画整理事業 竣工式

仙台港背後地は、東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港（仙台港区）に隣接する地区であり東北地方の国際貿易・交流拠点として整備が進められてきました。宮城県と仙台市は共同で、東北地方の発展を先導するため仙台港背後地の計画的な都市基盤整備を行ってきました。

この度、土地地区画整理事業の完結の節目となる換地処分が10月末に行われたことを記念し竣工式が開催されました。竣工式には、地元地権者の皆様や県選出国會議員、県議會議員、多賀城市長など事業に関わった方々など、約300名の方々に御出席いただきました。



●11月15日 大島架橋事業～本体工事現地着工へ

復興のシンボルとして気仙沼市本土と大島を結ぶ大島架橋と架橋に通じるアプローチ道路（トンネル含む）の整備を進めています。9月25日に磯草3号トンネルが貫通し、5基全てのトンネルが貫通したことになり、11月15日には橋梁本体の現地施工に着手したことを記念し、本体工事着工式を開催しました。



一般県道大島浪板線 大島架橋本体工事 着工式

●11月13日 （主）中田栗駒線（福岡工区）開通式 開催

本事業は、登米市中田を起点として、三陸縦貫自動車道「登米インター」と東北縦貫自動車道「若柳金成インター」を結び、栗原市栗駒を終点とする（主）中田栗駒線の福岡地区の道路改良事業です。平成14年度より整備を進めてきました（主）中田栗駒線福岡工区のうち、未供用となっていた0.5km区間が供用開始しました。これにより、福岡工区が全線供用（延長3.2km）となりました。



開通式



復興トピックス (平成27年1月～3月)

1月

2月

3月

●1月 仙台空港アクセス鉄道利用者数過去最高 仙台空港乗降客数320万人を突破し 震災以降最高を記録

平成26年1月～12月における仙台空港アクセス鉄道利用者数について、開業以来最高の329万9000人を記録しました。また、仙台空港の乗降客数は、震災以降最高の320万8000人を記録しました。

●1月 仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量21万TEU突破 震災以降最高を記録

平成26年1月～12月における仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量は、約21万3千TEUを記録しました。21万TEUを記録するのは、仙台塩釜港においてコンテナ貨物の取扱いを始めてから、平成22年を含めても2度目であり、過去2番目の取扱量となりました。

●2/12 都市計画道路 門脇流留線(魚町工区) 魚町道路改築工事安全祈願祭

(都)門脇流留線は通常の道路機能だけでなく、石巻市震災復興基本計画で位置づけられている多重防御施設の役割も担っており、今時津波と同等の津波が発生した場合に市街地の減災を図るものです。

●3/1 常磐自動車道の全線開通

●3/14～18 第3回国連防災世界会議

3月14日～18日にかけて、兵庫行動枠組(HFA)の後継となる新たな国際防災の枠組みを策定するため、第3回国連防災世界会議が仙台で開催されました。

3月16日パブリックフォーラム「東日本大震災からの多重防御によるまちづくり」を開催しました。東北大学災害科学国際研究所 越村教授の基調講演を始め、「多重防御の現状と課題」についてパネルディスカッションを開催し、国内外から約250名の参加がありました。

3月18日せんだいメディアテークで開催された「東北防災・復興パピリオン」において、東日本大震災の経験と教訓を踏まえて、現在県及び沿岸市町が取り組んでいる「宮城県における災害に強いまちづくり」を、逐次通訳を加えた二カ国語対応により、国内外の皆様へご紹介しました。

●3/21 JR石巻線の全線開通&女川復興まちびらき

●3/21 貞山運河「桜」植樹会 ～復興・そして未来へ～開催

●3/30 仙台松島道路 全線4車線化へ

●3月30日 仙台松島道路 全線4車線化へ

仙台松島道路の4車線化工事について、松島北IC～鳴瀬奥松島ICまでの約6.8km区間が完成しました。今回の供用で仙台松島道路が全線4車線化となり、復興道路としての利便性が向上し、復興支援に貢献できるものとされます。



●3月1日 常磐自動車道の全線開通

常磐自動車道「山元IC～相馬IC」間及び「南相馬IC～浪江IC」間が平成26年12月6日に供用開始しました。

(県内区間全線供用)

また、3月1日には、「常磐富岡IC～浪江IC」間が供用開始し、常磐自動車道の全区間が供用されることとなり、東北震災復興の加速化につながるものと期待されます。



●3月21日

JR石巻線の全線開通&女川復興まちびらき

女川町では、平成27年3月21日 JR石巻線の全線運転が再開されました。また、当日は『おながわ復興まちびらき2015春』と題した記念式典が挙行政され、「まちびらき」がなされました。式典には、竹下復興大臣をはじめとする来賓と一般来場者約2,300名が訪れ、抜群の晴天のもとお祝いムードに包まれました。



●3月21日 貞山運河「桜」植樹会

～復興・そして未来へ～の開催

貞山運河への桜植樹は、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として、官民連携で取り組むことを基本としています。今年度は、寄附募集開始の初年度となることから象徴的な植樹会を開催しました。



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp

HP : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>